

令和6年度松江市立鹿島東小学校の教育 ひかる がんばる じしんまんまん ひがしっ子 パワー



令和6年度 松江市立鹿島東小学校 学校教育目標

豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもの育成

1 めざす学校の姿

子どもたちが温かさの中で、夢を持ち、力いっぱい活躍できる学校づくり
○夢がもてる学校 ○力いっぱい活躍できる学校 ○温かさを感じる学校

2 めざす子どもの姿

基本を大切に確実に身に付ける子ども	【知識・技能】	【凡事徹底】
最後まで考え抜き自分らしく表現できる子ども	【思考力・判断力・表現力】	【試行錯誤】
苦手なことにもあきらめずにチャレンジする子ども	【学びに向かう力・人間性】	【挑戦意欲】
自分も友だちも大切に学び合う子ども		【共生協働】

か しこく（自ら学ぶ子）

し っかり（心身を鍛える子）

ま ごころ（思いやる子）

3 学校経営の重点

- ・「やりたい」「できた」「できる」が感じ取れる学びの展開により、将来への夢を培う。
- ・体づくりの推進と基本的な生活習慣の定着を図る。
- ・人権尊重を核とした心の教育の充実を図る。

〒690-0804 島根県松江市鹿島町北講武 599

Tel(0852)82-0309 Fax(0852)-82-0814



k-higashi-e@city.matsue.ed.jp

鹿島東小学校
学校 HP →



かしこく【自ら学ぶ子】

「やりたい」「できた」「できる」が感じ取れる学びの展開により、将来への夢を培う。

<p>取組 具体的な</p> <p>資質・能力 育てたい</p>	<p>A 対話を用いた学習の実施 B 各教科の基礎基本の定着 C 図書館教育の充実 D ふるさと教育の推進 E ICT を活用した学習の推進 F キャリア教育の推進</p>	
<p>習得 生きて働く知識・技能の</p>	<p>B 漢字, 計算チャレンジテストを全学年で実施し基礎基本の定着を図る。 B フレッシュタイムやぐんぐんタイムを活用して, 基礎学力の定着を図る。 A 各教科や特別活動等で対話スキルの定着を図る。 E 情報活用能力の育成・向上として, 授業の中で積極的に ICT 機器を活用する。</p>	
<p>現力 未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力</p>	<p>C 読み聞かせや朝読書の仕方を工夫することを通して, 読書の好きな子どもを育てる。 C 図書館を活用した学習を意識して取り入れ, 情報活用能力を高める。</p>	
<p>人間性の涵養 学びを人生や社会に活かす</p>	<p>A 「考えを広げる, 深める児童の育成～互いの考えをつなげるキャッチボールを通して～」をテーマとした校内研究に取り組む。 D 地域について知る, 調べる, 考える, 伝える活動を工夫し, 地域への愛着や誇りを育む。 E ICT 機器を活用することを通して, よりよい問題解決の方法を考える子どもを育てる。 F キャリアパスポートを利用して, 目指す自分やそこに向かう取組を明らかにする。</p>	

令和6年度の評価の視点

- ①人の話をよく聴いたり, 発表したりしている。
- ②進んで読書に取り組んでいる。
- ③宿題や自主学習に進んで取り組んでいる。

しっかり【心身を鍛える子】

体づくりの推進と基本的な生活習慣の定着を図る。




<p>取組 資質・能力</p> <p>具体的な 育てたい</p>	<p>G 基本的な生活習慣の定着 H 衛生管理 I 食育の推進 J 体幹・体力づくり</p>	
<p>能の習得</p> <p>生きて働く知識・技</p>	<p>J バランスの良い体づくりを目指して、授業としての体育の充実（運動量の確保，全運動領域）を図る。 G 学校保健委員会や健康委員会の取組を通して、「よい睡眠」を中心とした望ましい生活習慣を知り，習慣化する。 H 感染症等予防について場に応じた過ごし方を自分自身で判断し行動する力を身に付ける。</p>	
<p>力・表現力</p> <p>未知の状況にも対応</p>	<p>G メディアアンケートを実施し，子どもの実態を把握した上でのメディア学習を設定することで，児童自らが望ましいメディアとの付き合い方を考えて実践することができるようにする。 I 給食センターの栄養教諭とTTで食の学習を実施することで，食事のマナーや生産者への感謝，地産地消の良さについて具体的に考えられるようにする。</p>	
<p>力</p> <p>学びを人生や社会に活かす</p> <p>人間性の涵養</p>	<p>J ロードレース大会の学期に1回の開催，なわとび集会の3学期の開催を通して，自分の目標に向かって地道に努力する力を培う。 G 健康チャレンジ週間を年3回設定し，よりよい生活習慣を築こうとする意欲を高める。</p>	

令和6年度の評価の視点

- ①「早寝・早起き・朝ごはん」生活習慣が定着している。
- ②進んで体を動かして遊んだり，運動したりしている。
- ③苦手なことにもあきらめずに挑戦している。

まごころで【思いやる子】

人権尊重を核とした心の教育の充実を図る。

<p>取組 資質・能力</p> <p>具体的 な 育 て たい 能 力</p>	<p>K 人権教育の推進 L 道徳教育の推進 M 積極的な生徒指導</p>	
<p>生きて働く知識・技能の習得</p>	<p>K 人権標語をつくり，身のまわりの人権に関する課題について考える。 K 対話や話し合いを通して，友だちの思いや考えに気付く力を育てる。 M 教職員の手本，児童会の取組を通して，明るい挨拶ができる子どもを育てる。</p>	
<p>未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力</p>	<p>M 教育相談を1つの機会として，悩んでいる自分に気付き，解決の方法を教師とともに考える。</p>	
<p>学びを人生や社会に活かそうとする学びの涵養</p>	<p>K なかよし集会を通して，互いの学びや取組に目を向ける。 L 対話を通して，自己・学級の課題に気付き，自ら解決する態度を育てる。 M 校内体育会や連合音楽会，学習発表会等の行事を通して友だちと協力して成し遂げることに喜びを味わわせる。</p>	

令和6年度の評価の視点

- ①人をいじめたり，無視したりせずなかよく過ごそうとしている。
- ②自分の気持ちや考えで正しいと思う行動をとろうとしている。
- ③家でも学校でもあいさつをがんばっている。
- ④学校は，児童の気持ちに気を配り，悩みや困っていることに対してていねいに対応している。